■ 2026年度 入試問題分析シート ■

北海道大学　前期日程 文系（看護,作業療法含む）

科目	数学

総 括

試験時間	90分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	**易化**
満点(配点)	150点	分　量(昨年比)	増加	昨年並	**減少**

〈総　論〉

教科書や問題集等で一度は見たことのあるような問題（1や3が代表的）が多く出題された。また，2年連続で誘導を利用して漸化式を解く問題が出題されており，きちんと過去問に取り組んでいた受験生は取り組みやすかったのではないだろうか。計算量は昨年に比べるとやや少なくなった。すべての問題が値や式を求める問題であり，証明問題や図示する問題が出題されなかった。

〈特記事項・トピックス〉

・昨年度は出題がなかった「積分」と「確率」に関する問題が出題された。
・7年ぶりに「空間ベクトル」に関する問題が出題された。
・来年度は数学Ｂの「統計的な推測」が出題範囲に加わる。

〈合格への学習対策〉

入試で基本的な問題が確実に得点できるように，まずは教科書の例題を解けるようにしたい。また，結果だけでなく，結論に至る過程も自分の言葉できちんと説明できる（問題冊子の表紙には「採点時には，結果を導く過程を重視するので，必要な計算・論証・説明などを省かずに解答せよ」との注意書きがある）ように，記述式の答案を書く練習もしておくことが必要である。１つの計算ミスが致命的になりかねないので，計算もおろそかにすることなく，正確に実行できるように普段から練習しておきたい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範　囲	分野・テーマ	特徴（内容分析・解答上のポイント）	問題レベル
1	記述	Ⅱ	微分・積分	3次関数の極値や最大値と，絶対値を含む定積分の計算の問題。$a>2$であるから，(2)は場合分けをせずに最大値が求められる。(3)は$f(x)$の符号により絶対値記号を外して定積分を行えばよい。	やや易
2	記述	B	数列	誘導を利用して2項間漸化式の一般項を求める問題。(1)は与えられた式をa_nについて解き，与えられた漸化式に代入して整理する。(2)は(1)で得られた$\{b_n\}$の漸化式は教科書にも載っている形の漸化式であるから，それを解くことにより$\{a_n\}$の一般項を求めることができる。	標準
3	記述	C	空間のベクトル	座標空間内にある四面体の体積を求める問題。誘導に従って三角形ABCを底面としたときの四面体の高さを計算し，四面体の体積を求めればよい。	やや易
4	記述	A	確率	さいころを投げ，出た目により持ち点を何倍かしていく問題。(1)は3と5以外の目が2回以上出る確率を計算する。(2)は条件を満たす場合が多めであるが，1つずつ丁寧に計算していけばよい。	標準

「問題レベル」は，本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に，問題の難易度を５段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています．昨年対比ではありませんので，総括の難易度(昨年比)とは連動しません．

©駿台予備学校